

ビキニ被災事件年表

1954 西暦		29 昭和		項	目
3	月	3	日		
17	1	15	14	◎第一回キャッスルテスト	
3	3	3	3	◎午前三時三十分（現地時間）ビキニ環礁で水爆実験（第一回キャッスルテスト・15メガトン、広島型原爆の千倍）ビキニ東方一六〇キロの洋上にいた静岡県焼津港所属まぐろ漁船第五福龍丸（九九トン型、二十三人乗り組み）がこの実験を目標。午前五時三十分、第五福龍丸船上に白い灰が降る。この日の午後帰途につく。	
				3日後この灰は水で洗っても落ちなかった	
				◎午前十時、第五福龍丸静岡県焼津港に帰港	
				◎第五福龍丸乗組員増田三次郎さん、山本忠司さん、灰を持って上京、医師の診断を受ける	
				◎読売新聞が朝刊（14版）で第五福龍丸事件を報道（これが新聞での第一報となる）	
				◎夕刊各紙第五福龍丸事件を報道	
				◎県衛生部が調査班二班を編成、一班が三崎を担当。メンバーは公衆衛生課長・栗原忠夫、乳肉衛生係・小野勝、県工業試験場技師・大野明の三人。一班は十七日	

夕刻三崎に到着（ガイガーカウンター持参）

◎三崎保健所も朝から行動を開始した。レントゲンフィルムで大洋漁業所屬まぐろ船俊洋丸の船具などを測定

◎三崎魚市場のマグロ魚価暴落

3
18
◎水産庁、築地、焼津、三崎、清水、塩釜を遠洋漁業陸揚げ港に指定、厚生省は五港に放射能検知班を置く

◎厚生省検査官三崎に到着

◎三崎町議会、原爆マグロ問題で議会内に「鮪漁業緊急対策特別委員会」を設置

◎日鯉連内に太平洋漁業対策本部設置

3
19
◎厚生省検査官行動開始

◎三崎魚市場入札中止

◎長野県でマグロを埋めた問題で調査員二名が現地へ出張

◎地方出荷のマグロに宣伝チラシを添える。（食べて安心三崎のまぐろ）

広報活動の開始Ⅱピラハ〇万枚、ポスター三万枚、魚体添付ピラ二万枚。テレビ、ラジオを活用、対策費は四八〇万円

◎丸魚、船員組合など漁業関係団体が、船員ホームで原爆被災対策協議会を開く

◎三崎町議会の鮪漁業緊急対策特別委員一行太平洋漁業対策本部を訪問、運動状況を聞く

3	20	◎三崎の漁業関係団体が対策三崎本部（本部長寺本正市氏）を設置
3	21	◎三崎町、三崎町議会が連名で外務省など関係機関に対し陳情書提出を決める
3	21	◎まぐろ試食会が三崎魚市場で開かれる。厚生省技官ら関係者が参加
3	23	◎対策三崎本部、町に対し魚市場使用料の流用を申し入れ
		◎三崎町議会、緊急議会協議会を開いて魚市場使用料の流用問題を協議、席上まぐろの試食
3	24	◎マグロ魚価、立ち直りの気配を見せる
3		◎対策三崎本部、関西方面への宣伝に力を入れる
3	26	◎対策三崎本部、関東地区への宣伝を開始
		◎対策三崎本部、マグロ対策で県へ陳情
3		◎第十三光栄丸二十六日夜三崎に入港、二十七日午前〇時から船体検査
3	27	◎第二回キャッスルテスト
3	28	◎第十三光栄丸のマグロ、データ不足で再度検査
3	29	◎厚生省の係官が第十三光栄丸のまぐろを検査、この日午後十一時四十分になって「食料として不適格」と断定
		◎県議会「原爆の被害に対する資金融資措置に関する意見書」を採択
		◎県議会、農林委員会で三崎の救済策を協議
		◎対策三崎本部、県に「原爆の被害に対する資金融通措置に関する陳情書」を提出

3	30	◎対策三崎本部、深夜緊急幹部会を開く。久野又兵衛副部長ら六人が辞表を提出 ◎厚生大臣、県に第十三光栄丸の一万三〇〇〇貫の廃棄処分を通達。県は船主に通知
3	31	◎内山県知事三崎を訪問。対策三崎本部から事情を聞く ◎対策三崎本部で委員会を開く ◎第十三光栄丸乗組員十三人(第一班)国立久里浜病院で精密検査 ◎第十三光栄丸乗組員十人(第二班)国立久里浜病院で精密検査 ◎対策三崎本部寺本部長ら一行安藤國務相を訪問、遠洋漁業関係者と十三光栄丸の国家補償を陳情
4	1	◎三崎町議会「太平洋水域における原子爆発実験の停止及び実験により蒙りたる経済的損害の補償に関する陳情書」を各方面に提出(二日まで)
4	2	◎県議会「原爆の被害に対する資金融資措置に関する意見書」を外務省に提出 ◎第十三光栄丸まぐろ廃棄処分のため、午後三時十五分、三崎港を出港 ◎第十三光栄丸午後十時廃棄現場に到着。投棄場所は千葉県野島崎東方三〇〇マイルの水深六〇〇〜七〇〇メートルの地点(北緯三六度〇〇分、東経一四六度〇〇分)

◎青山参議院水産常任委員、参院石村議員が三崎を視察、対策三崎本部で実情を聴取

4	17	◎三崎魚市場で、キハダ、クロ皮、カジキの三魚種が安値一〇〇円を記録
4	18	◎衆議院水産常任委員会・水産特別委員徳久三枝氏来訪、対策三崎本部から報告を聞く
4	19	◎対策三崎本部、水産庁、厚生省を訪問、苦境を訴える
4	20	◎県、被災漁業者に対する第一回融資（三〇〇万円）
4	21	◎三崎地区労働協議会主催・水爆対策三崎町民大会（三崎魚市場前）。大会宣言決議を採択
4	22	◎三崎町議会鮪漁業緊急対策特別委員会、協議会を開く
4	23	◎町民大会実行委員会、宣言、決議を県、水産庁などへ提出、別紙申し入れ書も提出
4	24	◎原爆禁止神奈川大会・神奈川会館
4	25	◎森崎参議院水産常任委員長来崎、三崎魚市場を視察、関係者から被害の実情を聞く
4	26	◎全日本民主医療機関連合会、第十三光栄丸船員四名を検査（第二回）
4	27	◎横浜市中心市場内でマグロの試食会、三崎から魚商代表者が参加
4	28	◎第四回キャスルテスト
4	29	◎町主催・放射能講演会、講師は立大教授武谷三男、東大教授中泉正徳氏
5	1	◎第十三光栄丸乗組員、チラシ「訴え」を出す

	◎三崎地区統一メーデー実行委員会、議案に「挙町一致原爆禁止運動」を盛込む （決議でも原爆問題を盛り込む）
5	◎第十三光栄丸乗組員、検査のため国立久里浜病院へ（二回目の検査）
5	◎第五回キャッスルテスト
5	◎横須賀市で水爆被害実情報告大会（午後一時から横須賀魚市場内で）。三崎から 対策三崎本部、丸魚、船員組合が参加
5	◎山本代議士来訪、三崎町、町議会、魚商、船主関係者から事情聞く
5	◎三崎漁港振興協議会開く
5	◎第七清寿丸船員吉岡洋さん、パラオの病院で病死。ビキニ事件犠牲者第一号の可 能性が濃厚
5	◎水産庁、東日本魚商協同組合連合会から事情聞く。三崎から三崎魚商協同組合の 久野又兵衛組合長出席
5	◎第六回キャッスルテスト
5	◎農林省水産講習所練習船俊鵬丸、ビキニ海域の放射能調査のため東京港を出港
5	◎県議会、原子力の被害防止に関する決議案を満場一致で可決
5	◎安藤国務大臣三崎へ。内山県知事、三崎町、町議会、漁業関係者から事情聞く
5	◎午後、第八順光丸三崎に入港。検査で船体から一万カウント以上の放射能を検出
5	◎第八順光丸、築地に回航

7	7	7	7	6	6	6	6	6	5	5	5	5
29	22	19	14	4	21	18	8	6	4	29	27	25
◎水爆被害交渉経過報告会が午後七時から西野小公園で開かれる。主催・協会、丸	◎三崎町魚商協同組合緊急総会、議題は水爆被害特融問題	◎厚生省公衆衛生局長は県知事に対し、放射能検知魚類の取扱いに対し「魚体全体として一〇〇カウント以上であっても、内臓、エラなどを除去し再検査して一〇〇カウント以下の場合これを食用に供することとした」旨の通達をした	◎俊鶴丸漁労船員加治木虎男さん、原爆症で東京国立第一病院に入院	◎農林省水産講習所練習船俊鶴丸、ビキニ海域の放射能調査から帰る	◎三崎町議会鮪対策委員会開く	◎三崎町、「原爆被害自治体に対する原爆起債優先取扱い方を陳情書」を提出	◎政府は八日の閣議で被爆補償一部内払い金二二五万円を決定、第十三光栄丸は三九〇万円	◎横須賀市走水で埋め立てたマグロが雨で露出騒ぎ	◎世界平和者日本会議に出席中の世界代表団が三崎を訪問	◎丸生総会	◎臨時町議会開く、マグロ対策でもめる	◎三崎町議会鮪漁業緊急対策特別委員会が、国会に水爆被害損害補償の早急解決を陳情
												◎第八順光丸、東京都衛生局が検査

10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	7
11	9	5	30	25	23	17	27	23	12	30
◎神奈川県漁民による漁民大会開く(新生座)千人の代表が集まる	◎久保山愛吉さん葬議(漁民葬)・焼津市講堂	◎臨時町議会招集(会期一日)「原子兵器の実験、使用禁止及び被害に対する完全補償に関する決議案」を可決	◎県議会九月定例会で「原子兵器の実験、使用禁止及び被害に対する完全補償に関する決議」を採択	◎三崎漁業関係者と焼津市民が原水爆禁止と、全額補償要求のプラカードを立て、外務省、米大使館前を自動車デモ。ビキニ対策で外務省に善処を要求	◎午後六時五十分、国立東京第一病院に入院中の第五福龍丸無線長久保山愛吉さん(39)放射能症で死去	◎安藤国務大臣、三崎魚市場を視察。町役場で業者代表の話を聞く	◎午前十時、小泉純也代議士来訪(ビキニ補償問題の報告を聞く)	◎町議会・鮪対策委員会一行、県外船の融資わくの増額の件で水産庁へ	◎鮪漁業研究会主催第二回鮪漁業講演会で、南海区水産研究所遠洋資源部長矢部博技官(ビキニ調査団長)が、「ビキニ調査の概要報告」を講演	◎社会党・片山哲元首相、三崎の二の宮徳雄さん宅で水爆被害補償問題の懇談会、終わって新生座で時局講演会
										生、船員組合、丸魚。後援・三崎町

1956

1955

31

30

1	11	9	5	4	3	2	1	1	12	12	11	10	10		10	10
25	16	27	18	28	8	4	4	1	31	25	1	16	15		14	12

◎全国漁民大会（東京丸ノ内・読売ホール）、三崎から二百人参加
◎県、被災漁業者に対する第二回融資（八三〇〇万円）

◎政府は一時の救済融資として二億三千万円貸し出し。うち、丸生の割り当ては二五〇五万円

◎第八順光丸乗り組み員高木和一さん、急性骨髓性白血病で入院

◎三崎魚市場で放射能測定器の展示会

◎日鯉連で総額二十億円の損害賠償要求額明細書をまとめる

◎厚生省、マグロ検査中止を決める。東京都は検査打ち切りに反対抗議

◎危険区域解除、水揚げ検査廃止

◎三崎町、南下浦町、初声村三町村の合併で三浦市誕生

◎ビキニ被災補償日米公文書交換、アメリカ側の補償は七億二千万円

◎内閣官房長官根本龍太郎氏、補償の不足分を融資で賄うと言明

◎寺本正市氏、参議院水産常任委員会で漁業者の参考人として漁業者の窮状を口述

◎政府、ビキニ被災事件に伴う慰謝料配分を閣議決定

◎県、被災漁業者に対する第三回融資（六九七〇万円）

◎日本かつお・まぐろ漁業信用基金協会発足

◎第十三光栄丸潮岬南方八〇〇マイルで二十八号台風に巻き込まれて消息を絶つ

◎第十三光栄丸の遭難確定、本瑞寺で乗組員二十一人の合同葬

1995			1994		
7			6		
9	9	11	3	3	9
27	5	20	26	2	12
◎三浦市議会、九月定例市議会で「中華人民共和国、フランス共和国の核実験の中止と核兵器の廃絶を求める決議」を可決			◎久保山愛吉さん妻すずさん死去、七十二歳		
◎フランス、ムルロア環礁で核実験（日本時間六日午前六時三〇分）			◎マーシャル代表者との交流会を三浦市勤労市民センターで開催（主催・核兵器廃絶をめざす三浦連絡会）		
加			◎三浦半島劇団「海」公演・第13光栄丸ビキニで被爆す「たべてうまいよ三崎のまぐろ」二幕五景（作・演出神田時枝）		
◎三浦半島劇団「海」メーデー特別公演・第13光栄丸ビキニで被爆す「たべてうまいよ三崎のまぐろ」二幕五景（作・演出神田時枝）			◎三浦半島劇団「海」公演・第13光栄丸ビキニで被爆す「たべてうまいよ三崎のまぐろ」二幕五景（作・演出神田時枝）		
◎マーシャル代表団、マーシャルを訪問、三浦市からは小林直樹さんが参加			◎三浦半島劇団「海」公演・第13光栄丸ビキニで被爆す「たべてうまいよ三崎のまぐろ」二幕五景（作・演出神田時枝）		